

## 基本施策 1 地域経済の充実と発展



### (1) 力強い工業の振興

#### ① 市内中小製造業の企業力の強化

##### 現状と課題

市内の製造業は、事業所数、製造品出荷額ともに減少傾向が続いています。市の経済の活性化には、企業の発展が欠かせないものであり、本市に多く存在する中小企業に対して、経営の持続性を高める取り組みが必要です。

##### 施策の方向

商工会や大学と協力し、中小企業の生産技術向上や販路拡大、補助金の活用による効率的な支援を継続して行っています。

#### ② 人材の確保と育成の推進

##### 現状と課題

市内企業の活性化を図るためには、企業の競争力の源となる人材の確保や、それぞれの企業が求める技術力を持った人材の育成を積極的に推進していく必要があります。

##### 施策の方向

ハローワーク等の関係機関と就職ガイダンスを共同開催し、市内企業の希望人材と、就職希望者のマッチングを行います。また、今後、他の自治体と連携したガイダンスを企業や大学側と検討していきます。

### (2) 多様な商業・サービス業の振興

#### ① 地域商店の活性化

##### 現状と課題

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、地域経済の落ち込みが大きくなっています。交付金等の活用も行いながら、地域商店の活性化に取り組む必要があります。

##### 施策の方向

商工会と協力して集客策や地域商店での消費を促す施策を検討し、地域商店の活性化に取り組みます。

## ②大型店と小売店の連携による賑わい創出

<p><b>現状と課題</b></p> <p>大型店と小売店が共存できるように連携して商業振興策に取り組み、市全体の賑わいを創出できるような施策を進めていく必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>賑わい創出のため、大型店と小売店との情報交換の場の提供を行うとともに、大型店と小売店が連携したイベントを創出するなど、地域経済の活性化に取り組みます。</p>
--	--

## ③情報発信の強化

<p><b>現状と課題</b></p> <p>市が行う各種キャンペーン情報や、観光PRなどの情報発信を積極的に行っていく必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>大型店の空きスペースを市の情報発信拠点として活用し、観光PRや市の認知度向上に努めます。</p>
--	---

## ④起業の支援

<p><b>現状と課題</b></p> <p>起業を希望する方には、実店舗の調達や経営上のアドバイスなどを支援していく必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>金融機関や商工会と連携して、空き店舗の活用や創業塾などを開催し、起業希望者を支援していきます。</p>
---	--

## (3) 企業誘致・立地の推進

### ①中央市の特性を活かした企業誘致の推進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>中部横断自動車道の山梨・静岡間が全線開通し、今後はリニア中央新幹線の東京名古屋間の開業が予定されるなど、本市周辺の交通環境は大きく変化します。地域経済を発展させるためには、本市の強みを活かした新たな施策を考え企業誘致を促進させる必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>企業立地に関する助成や課税免除といった様々な支援制度の拡充のほか、県内外に対して本市の強みである交通アクセスの良さという地理的優位性を広くPRし、企業誘致を推進します。</p>
---	---

## ②企業進出時の選択肢拡大の推進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>進出企業の選択肢を広げるため、空き施設や企業用地の情報提供などを積極的に行っていく必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>工業団地、流通センターなどの団体と情報共有を図り、空き施設や企業用地の情報収集を積極的に行い、進出企業の選択肢の拡大に努めます。</p>
--	---

## (4) 雇用環境の充実

### ①雇用環境の確保と雇用の促進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>雇用機会の不足や魅力のある雇用の拡充を始め、地元就労の促進、高齢者や女性等の雇用促進に努める必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>ハローワーク等の関係機関との協力体制づくりや地域の事業所への啓発により地元就労の促進とともに高齢者や女性等の雇用促進にも努めます。</p>
---	--

指標名	現状値 (令和3年度実績値)	令和9年度 目標値	指標の定義
事業所数	1,315 件	1,390 件	国の統計調査（経済センサス－活動調査）において公表される中央市の事業所数

指標名	現状値 (令和3年度実績値)	令和9年度 目標値	指標の定義
従業員数	16,988 人	18,000 人	国の統計調査（経済センサス－活動調査）において公表される中央市の従業者数



## (1) 地域の特性を活かした農業の振興

### ①本市の特産品のPRと販売強化

#### 現状と課題

本市の農業振興のためには、トマト・キュウリ・ナス・スイートコーンなどの特産品のPRと販売強化に取り組む必要があります。

#### 施策の方向

本市の特産品である農産物の生産を奨励するとともに、販売強化とPRに取り組めます。

### ②6次産業化の推進

#### 現状と課題

本市の農産物をより効果的に地域振興につなげるため、6次産業化を進める必要があります。

#### 施策の方向

道の駅とよとみの農畜産物加工処理施設の活用や、6次産業化を検討します。

### ③農業生産効率の向上

#### 現状と課題

農業の振興を図るためには、農業生産効率の向上を図る必要があります。そのため、農地の集約化や法人の支援を行う必要があります。

#### 施策の方向

農地中間管理事業を活用した農地の集約化や農地所有適格法人（農事組合法人）等団体の設立支援、企業の農業参入支援などにより生産効率の向上を図ります。

#### 現状と課題

農業生産基盤の強化及び農業生産力の向上を図るため、ほ場整備や老朽化した水路・農道の整備改修が必要です。

#### 施策の方向

生産性が高く効率的な耕作ができる農地を維持していくため、ほ場整備や水路・農道の整備等、農業生産基盤の強化を図ります。

賑わいと交流の生まれるまちづくり

## (2) 地域農業を支える体制づくり

### ① 耕作放棄地解消の推進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>農家の高齢化や後継者不足から耕作放棄地が増加していますが、借り手は少ない状況です。また、耕作放棄地の荒廃が進み、大掛かりな整備が必要なところも増加しています。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>耕作放棄地について、所有者と共に有効な活用方法について検討し、農業関連団体とも連携して、農地貸借など農地としての活用を促進します。</p>
--	--

### ② 就農への支援

<p><b>現状と課題</b></p> <p>農業の担い手不足を補うため、新規就農者への支援を行う必要があります。併せて、環境に配慮した農業への取り組みの推進も求められています。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>本市独自の農業者支援対策を検討し、新規就農者向けの研修や環境保全型農業などの取り組みを推進します。</p>
---	--

### ③ 農業の担い手・後継者の育成

<p><b>現状と課題</b></p> <p>農業の担い手・後継者の減少が耕作放棄地の増加に大きな影響を与えています。また、離農者も増加傾向にあり、新規就農者などへの支援を継続的に行っていく必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>農業関連団体と協力し、地域農業の担い手を育成することを目的とした農業振興における支援策を継続的に実施していきます。</p>
---	--

### ④ 農業に接する機会の創出

<p><b>現状と課題</b></p> <p>農業の担い手・後継者の育成につながるため、農業に関わる機会の創出が求められています。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>農業関連団体と協力し、農業に接する機会の創出に努めます。また、新規就農者や農業体験の指導者などへの支援を行います。</p>
---	--

## ⑤ 新たな販路の開拓

<p><b>現状と課題</b></p> <p>農産物直売所による継続的な出荷場所の確保とともに、新たな販路の開拓を継続して行っていく必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>消費者ニーズへの対応や新たな販路開拓を行うことにより、都市近郊型農業の強化に取り組みます。</p>
--	--

## ⑥ 鳥獣害の防止策の検討

<p><b>現状と課題</b></p> <p>鳥獣害の被害が農作物の最盛期に増え、猟友会だけでは対応が難しい状況になっています。猟友会と協力しつつも猟友会に依存しない駆除・捕獲の方法の検討も必要です。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>市猟友会との協力体制のもと、引き続き有害鳥獣の捕獲・駆除を行い、併せて被害を防止するための本市独自の対策を検討します。</p>
--	--

## ⑦ 猟友会新規加入の促進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>市猟友会の高齢化とともに、活動できる会員が限られてきています。助成金の利用など新規加入促進への取り組みが必要です。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>猟友会への新規加入助成金交付事業を促進するなど、市猟友会への新規加入者確保に引き続き努めていきます。</p>
--	---



スイートコーン畑と八ヶ岳

### (3) 森林管理と利活用

#### ① 健全な森林資源の維持増進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>治山治水などの森林資源の多面的機能を保全するために適切な森林整備及び管理が必要であるとともに、景観保全や観光資源としての森林利用が求められています。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>山梨県や森林所有者と連携しながら、間伐などの適切な施業を行い、健全な森林資源の維持増進を図ります。</p>
---	--

#### ② 森林の環境保全推進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>松くい虫及びなら枯れ対策事業を継続的に実施していく必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>森林整備計画に基づき、松くい虫対策事業など森林の環境保全に努めます。</p>
--	---

#### ③ 山の神千本桜の保全活動の推進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>観光スポットである山の神千本桜については、地元自治会やボランティア団体に補助金の交付を行うなど、地域住民と連携した保全活動を推進する必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>観光スポットである山の神千本桜について、山梨県や地元自治会と共同で、桜の植樹、登山道の整備を継続して実施します。</p>
---	---



山の神千本桜

## ④ 景観保全の推進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>森林内の散策路やハイキングコースの整備などを進め、景観保全を推進する必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>森林内の散策路やハイキングコースの整備などにより景観保全を進めます。</p>
---	---

## (4) 農福連携<sup>1</sup>を基軸とした農業振興

### ① 農福連携の推進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>担い手不足や遊休農地の増加等の課題を解決するためには、農業分野だけでなく他の分野と連携した取組が必要です。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>農業分野と福祉分野の連携に取り組み、地域農業の活性化と障がい者・高齢者の就労支援に努めます。</p>
--	---

指標名	現状値 (令和3年度実績値)	令和9年度 目標値	指標の定義
認定農業者数	71人	80人	認定農業者制度により認定を受けている農業者の数(累計)

指標名	現状値 (令和3年度実績値)	令和9年度 目標値	指標の定義
耕作放棄地面積	117ha	100ha	R3 遊休農地調査数値

1 障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組。障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながることを期待される。





## (1) 魅力ある観光拠点の整備

### ① 道の駅を活用した観光ルートの開発

#### 現状と課題

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、道の駅を訪れる観光客は減少傾向にあります。知名度の向上を図り、誘客を推進する必要があります。

#### 施策の方向

道の駅とよとみを核とした既存の観光施設や文化財などを活用した観光ルートの開発を継続して進めます。

### ② 新しい地域観光資源の発掘

#### 現状と課題

本市の知名度向上のため、新たな地域資源の発掘や開発が求められています。

#### 施策の方向

特産品であるトマトやスイートコーンなどを利用した加工品を開発するなど、新しい地域観光資源の発掘を推進します。

### ③ 地域の伝統の維持・継続

#### 現状と課題

町村合併以降、祭りやイベントの統合が進み、賑わい創出に貢献している一方で、地域の伝統行事の維持・存続が難しくなっています。

#### 施策の方向

地域に根ざした祭りやイベントを支援し、地域の伝統の維持・継続に努めていきます。

### ④ 中央市ふるさとまつりの定着化

#### 現状と課題

中央市ふるさとまつりは市を象徴するお祭りとして実施されています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止が続きましたが、継続的な開催に努め、定着化を図る必要があります。

#### 施策の方向

市を象徴する祭りとして「中央市ふるさとまつり」の定着を図り、内容についても、より市民のニーズに応えられるよう継続して検討していきます。

## ⑤まちの魅力発信の強化

<p><b>現状と課題</b></p> <p>都市圏からの人の流れを作るためには、他自治体にはない中央市独自の魅力を明確にし、伝えたい相手の特性（年齢、性別等）を考慮した効果的な方法でPRすることが重要です。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>他自治体にはない中央市独自の魅力を掘り起こし、伝えたい相手の特性（年齢、性別等）を考慮しつつ、紙媒体、SNS、WEB広告等、効果的な方法を用いて戦略的にPRを行います。</p>
--	---

## ⑥旅行会社と連携した知名度向上の推進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>中央市の知名度向上には、バスツアーへの組み入れなど、効果的な方法を検討する必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>旅行会社等と観光商談を進め、バスツアーのルートに組み入れてもらうなど、本市のPRに努めます。</p>
--	---

## ⑦外部団体と連携した観光PRの推進

<p><b>現状と課題</b></p> <p>リニア新駅近郊の市として、民間等と連携しながら、効果的な観光PRを行っていく必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>外部団体との協力のもと、首都圏の集客効果の高い場所で観光キャンペーンを行います。</p>
---	---

## ⑧インバウンド受け入れ体制の強化

<p><b>現状と課題</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、インバウンド観光は大きく減少しました。ウイズコロナ時代を視野に、インバウンドの受け入れ体制の強化が必要となります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>県内外の多様な主体と連携し、インバウンド観光に対応した受け入れ体制や観光メニューの開発及び積極的な誘客活動を行います。</p>
---	--

## (2) 農林業と連携した観光の推進

### ① 農産物直売所の知名度向上

#### 現状と課題

本市の観光資源として重要な道の駅とよみや農産物直売所た・からの知名度を向上し、農業と連携した観光振興に努める必要があります。

#### 施策の方向

道の駅とよみや、農産物直売所た・からに関して、直売所として知名度を向上させる施策を推進し、引き続き販売促進に取り組みます。



## ②農業資源の観光活用

<p><b>現状と課題</b></p> <p>収穫体験や農産物のPRを通して、本市地域農業の現状や歴史について理解を深めてもらう施策が求められています。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>収穫体験などを通じて市民や観光目的の来訪者に対し、特色ある本市の農産物をPRすることで、地元農産物の購買拡大に結び付けるとともに、地域農業の現状や歴史を伝える機会を設けます。</p>
--	--

## ③地域ブランドの構築

<p><b>現状と課題</b></p> <p>本市にはトマトやスイートコーンなどの特産品がありますが、今後さらに高品質化に取り組み、より多くの観光客の購入につなげていく必要があります。</p>	<p><b>施策の方向</b></p> <p>農業関連団体と連携して、本市で生産される農産物の高品質化に取り組み、地域ブランドの構築及び確立、生産の奨励と販売の強化に取り組みます。</p>
--	--

指標名	現状値 (令和4年度見込値)	令和9年度 目標値	指標の定義
観光客入込客数 (延べ人数)	518,000 人	544,000 人	各主要観光入込客数 (延べ人数)



シルクふれんどりい



## (1) リニア中央新幹線を活かしたまちづくり

### ① リニア中央新幹線を活かしたまちづくり

#### 現状と課題

2027年のリニア中央新幹線の効果を活かしたまちづくりや地域の魅力を高め、市全体を活性化させる方策の検討を行う必要があります。

#### 施策の方向

リニア中央新幹線を活かして市全体を活性化させる方策について、各部門相互の調整および効率的な意見調整を行います。また、中央市リニア活用基本構想および山梨県が策定したリニアやまなしビジョンなどを踏まえ、本市におけるリニアを活用したまちづくりを検討します。

### ② リニア中央新幹線開業に関する柔軟な施策展開

#### 現状と課題

リニア中央新幹線開業に際してのまちづくりや土地利用についての具体的な指針が示された時に柔軟に対応できるように、事前に準備を行う必要があります。

#### 施策の方向

リニア中央新幹線の進捗に応じて、本市の施策展開を柔軟に行えるように、関係機関との連携を強化します。施策に関しては、中央市都市計画マスタープラン、中央市観光振興計画など諸計画との整合性を図り、実現に向けて取り組みます。

### ③ リニア中央新幹線開業が本市に与える影響への対応

#### 現状と課題

リニア中央新幹線開業が本市に与える影響については、まだほとんど分かっていないのが現状です。メリット・デメリットについて精査を行い、施策につなげていく必要があります。

#### 施策の方向

リニア中央新幹線開業により、本市が受けるメリット、デメリットの精査を行い、メリットについては強みとするべく検討を行い、デメリットについては、その影響を最小限にとどめるための方策を検討します。

## ④リニア中央新幹線が生活環境に与える影響への対応

### 現状と課題

リニア中央新幹線開業が生活環境に与える影響については、まだ不明な点が多くあります。情報の収集に努め、市民への情報提供を行っていく必要があります。

### 施策の方向

工事期間中および開業後の生活環境への影響について、関係機関との情報交換を行うとともに、JR東海と協議・調整を図ります。また、リニア工事関連に対する十分な住民説明や生活環境等への配慮について、JR東海に対し重点的に要請していきます。

## (2) 計画的な土地利用

### ①リニア中央新幹線開業に際する土地利用の検討

### 現状と課題

2027年のリニア中央新幹線開業に際してのまちづくりや土地利用については、具体的に検討する必要があります。

### 施策の方向

土地利用に関しては、中央市都市計画マスタープランなどを基に関係各課と協議し、適切な土地利用となるように、県とも協議・調整を図ります。



整備が進むリニア中央新幹線